上尾西ロータリークラブ会報

Weekly Bulletin of Ageo west Rotary Club
創立 1973年3月28日

会長 ：川田 淳也　副会長：紅谷 弘二
幹事 ：原 雅之　副幹事：中村 次男
S.A.A：小山 清

クラブ会報委員長：髙橋 昌弘
田邉 利幸

発行日　2023-8-30
通算　第2605回
本年度　8回(2023.8.23)

2023～2024 RIテーマ
世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長　ゴードン R. マッキナリー（South Queensferryロータリークラブ）
国際ロータリー第2770地区ガバナー　梨本 松男（幸手ロータリークラブ）
第5グループ ガバナー補佐　堀口 勝男（桶川イブニングロータリークラブ）
第5グループ ガバナー補佐幹事　新井　雄二（桶川イブニングロータリークラブ）

.。.＊゜＊.。.＊誕生祝・結婚記念祝＊.。.＊゜＊.。.

●誕生記念祝

山﨑康裕(8日)
新井登志彰(9日)
齊藤一雄(14日)
関根雅(14日)
齋藤幸一(20日)
川田淳也(23日)
辻尚之(28日)
大貫等(29日)

山﨑康裕 会員

本日は祝っていただきありがとうございます。私は今月で56歳になりました。

皆さん、おめでとうございます

会長挨拶（川田淳也 会長）

本日8/23はなんと私、川田の51歳の誕生日です。前年度会長の田邉会員も9/21の定例会開催日がちょうど誕生日でした。会長年度で定例会当日に誕生日をお祝いして頂けるのはとても光栄で嬉しく、ラッキーなことだと感じました。ちなみに今後、水曜日に8/23が当てはまるのは、2028年、2034年、2045年、2051年、2056年、2062年でした。2062年ですと私はちょうど90歳です。39年後に90歳の誕生日を祝って頂けるように健康であり続け、そしてロータリー活動が行えるように資産も築き、安泰な環境を作っていきたいと思いました。50歳になってからの私の関心事は、健康的に生きて、好きなことにどのくらい時間とお金を投資できるかです。今はゴルフに夢中ですが、コロナが明けてからは色々な場所に旅行したいとも考えております。ただ旅行をするだけではあまり面白くはないので、過去に自分が行ったことのある場所や、過去に生活したことのある場所、後は家族や友人の故郷やゆかりのある場所など、その場所と自分もしくは知人の過去がリンクしてその当時が想像できるような場所がとても楽しみとなっています。「ここでよく遊んでいたな」、「この学校で青春時代を過ごしたな」、「あいつとここに旅行に来たな」など、今までの人生と今後の人生を結び付けて、過去の経験があって今の幸せがあるのだなと思いにふけることが好きです。自分や自分の身の回りの方との接点も偶然なのか必然なのかわかりませんが、かなりの角度で奇跡だと感じています。その奇跡の一つとして私が2年前、幹事を務めさせて頂きました福﨑元会長の故郷に10/18(水)～19(木)の親睦旅行で伺えるのはとても楽しみでいまからワクワクしております。皆さんも是非とも福﨑会員の青春時代を一緒に体感してみてはいかがでしょうか？最後になりますが、定例会運営に欠かせないSAAの皆さん、IT委員会の皆さん、プログラム委員会の皆さん、親睦旅行に向けて準備を色々なして頂いている親睦委員会の皆さん、お忙しい中、本当にいつもありがとうございます。そして本日は7/23・24とお休みの中、セミナーに参加して頂いた今年度、各奉仕部門委員長の皆さん、セミナー報告をよろしくお願いいたします。

幹事報告（原雅之 幹事）

① 10月2日(月)にプレステージで行われる地区大会ゴルフの案内が来ております。申し込み人数は4名となっていますが、例年ちょっと多めに組数を出させていただいているので、8名ぐらいはいけるかと思います。ご希望の方はご確認をください。 ②親睦旅行の参加の締め切りが今日までとなっております。③8月27日(日)に米山記念奨学部門セミナー。9月2日(土)にロータリー財団部門セミナーが行われます。ご担当の方よろしくお願いいたします。 ④50周年の記念誌を配布しました、ご確認の方をよろしくお願いいたします。

セミナー報告

国際奉仕委員会　中山邦 委員長

主には上尾RCの藤村さんがやっているダナン(ベトナム)のグローバル補助金VTTを活用して、整形外科病院にリハビリ機械を贈与し、現地の学生さんを埼玉の病院で研修をさせるというプロジェクトの報告説明がありました。あとは、コロナの前に行われたフィリピン支援の報告、浦和RC・岩槻RC・春日部RCが写真で報告していました。件数は全体で地区は大体50件ぐらいあり、そのうちの8割方がフィリピンです。地区としては、今後はカンボジアやダナンの件もあり、ベトナムなども力を入れていきたいということを話されていました。

自分のクラブで何をするか決まってないところは、そういう案件に参加してみるのもどうでしょうか？ということで、うちも台湾がありますので、積極的に交流関係を繋ぐことがいいのかなと思います。最後に、国際大会ですが、来年5月26日～29日にシンガポールで、ガバナーナイトは5月25日の現地時間午後6時に行われます。詳細は12月1日に発表だそうです。

社会奉仕委員会　河原畑光一　委員長　最初に各クラブの社会奉仕の実態の発表もがあり、上尾西としてはホタルの再生をしていると発表させていただきました。社会奉仕委員会として前年度からピンクリボン運動を乳がん検診支援普及の活動ということ、また腎・アイバンク啓発活動と登録活動も例年のごとく継続するということで、各クラブの方の協力をお願いしたいとありました。ペットボトルのキャップ回収に関して、回収業者がいなかったということもあり中止となっていましたが再活動となりました。ロータリアンの方で回収するということで事務所に取りに来てくれるそうです。また、アイシティ eco プロジェクト、コンタクトレンズのプラスチックケースの回収事業ということで、ペットボトルのキャップと同様回収していただきたいということです。そして、子宮頸がん・HPVワクチンの計啓発活動もロータリーが活動しているというアピールを地区でもしていきたいということでお話ありました。本日の理事会でもありましたが、国内災害発生時にクラブ宛に募金のお願いがきますが、これもなるべく協力をして欲しいということ、ウクライナの支援活動募金も戦争が終わらない限りは続けていくということで、クラブからの寄付などもお願いすることが多くなる年になるかなということでした。社会奉仕の方で、今ブライダル委員会というものがあり社会奉仕委員会に吸収された形になっています。今年も4回の活動をやっていくということで、「再婚さんいらっしゃい」という再婚の婚活パーティーを開いていくそうです。

IT委員会　矢澤勇　委員長　目的としては出席率を高めるためにハイブリット例会にして、Zoomを使っての参加を目的にしてできたものですが、全然向上しておらず上尾西に関しても今日も1人も参加していません。それに対して、1時間～1時間半前から準備をしているのに、誰も参加しない、または参加しても1名か2名というのが実状的で、毎回やって一応形は整えてはいますが他クラブでは出席する人がいなければ設置をしないとしていますので、私と他クラブの方々の意見ですが、そこら辺は徹底するべきではないかということと、もう一つはこのZoomの設定を河原畑会員と私、三浦会員が今日から手伝ってくださっていただきましたが、たまたま3人とも出られない時のことを考えて、皆さんもできるようにZoom設定の勉強会のようなものを開催した方がいいのではないかということが話に出ています。皆さんには例会に出られない際はZoom参加の表明をしていただきたいという点と、Zoom設定を少しでも多くの人に覚えていただくというのがテーマになっておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。

管理運営部門　紅谷旺司　委員長　DEIを3本柱にして運営をしていきましょうというお話ですが、実際それをいきなりボンとぶつけられても、何の事かと皆さんも感じていると思うのですが、詳しいもろもろ説明が最初ありましたので私なりに簡単に理解をしているところで申し上げますと、「Diversity（ダイバーシティ、多様性）」「Equity（エクイティ、公平性）」「Inclusion（インクルージョン、包括性）」ですが、世の中、障害者もいれば男女もいれば色々な多様性があることをまずは認識しましょう、それをロータリーでは包括的に受け入れていきましょう。エクイティは公平性ですので、自主的な平等、色々なことを確実的にずっと同じに扱うという事ではなく、それぞれの多様性に対応して、それぞれの扱いについて公平かつ、隔たりがない、そういう受け入れをしましょうというお話だったのかと思います。その上で、ユニークなクラブ文化ということで、自分のクラブは本当にインクルーシブなのか？独自の自分のクラブの文化なのか？ということを各自でぜひ話してくださいということでした。独自のクラブ文化を生かしつつインクルーシブなクラブを目指すには、今後何をしたらいいのかということの問いかけをいただいたとので、今後、執行部等含め、その辺の方針も考えていければと思います。午後の分科会はユニークな形式でランダムにグループ分けされており、みんなでワークするような形でテーマを決めて話し合いをしました。その中で出た話なのですが、皆さん「ロータリー賞」ご存知ですか？各クラブが地区で掲げて、ある基準を達成するとロータリー賞がもらえるそうで、ガバナーも各クラブが取れるように頑張ってほしいと話がありました。その基準は寄付がどうだとか、全員がどれだけそれに参加している等と基準が厳しく、賞を取れているところは偏っていると感じています。地区内ではロータリー賞が50%ということで100%に近づけていきたい、その前提としてMyRotaryの登録を100%進めて欲しいとのことでした。そして、クラブ活性化っていうところで言うと、DEIを推進してロータリー賞を目指すクラブ、そしてインクルーシブなクラブかどうかということを文化の中に取り入れているかということを進めていくと活性化が図れるのではないのかということで、私がいたグループでは、ロータリー賞をクラブで目指すことが、なぜクラブ活性化に繋がるかという素朴な疑問が出て、向こうの執行部は意見として取り入れていました。それから、人材育成のRLIがありますが、この間コロナの関係でZoomだったそうで、リアル参加とどちらのやり方がいいのかと色んな議論の話し合いが私のグループではあり、そこで出てきたのはZoomだと楽チンで来やすいと参加率が上がるのではという意見もありつつ、色々なクラブと交流でいうとリアルで会って参加して、お友達ができたるということもあるのに、それを全部Zoom化してしまうと、ロータリーの本質がどんどん形式化してしまい、逆に良くないのでは等、結論は出るわけではないのですが、いろんな種の考え方を聞けて私は楽しかったなという感じです。今お話ししたようなことについて、うちのクラブでも取り上げて時間がある時にみんなでグループワークみたいにするのも面白いかなと思いました。

青少年奉仕部門　水野正男　委員長(代読)　梨本ガバナーの点鐘に始まり、佐藤青少年奉仕部門委員長、大貫担当諮問の挨拶の後、インターアクト、ローターアクト委員会の報告、RYLA委員会の体験発表、そして青少年交換委員会からの体験発表がありました。RYLA委員会の報告は沖縄での研修報告がスライドを流す形でありました。青少年交換の体験談は、スウェーデンに派遣された横田　琴乃さん、スイスに派遣された大谷部彩夏さんからあり、こちらが一番興味深かったです。横田さんが英語での会話からスウェーデン語を覚えてホームステイの家族と馴染んで行く過程、大谷部さんが、スイスジャーマン（スイスドイツ語）が分からずに苦労した話等々は世界の一流大学で学問をする財団奨学生の経験とは全く違うレベルの世界を体験した一年間がいかに若い世代の濃い思い出になっているかがわかり、青少年交換こそがロータリーの神髄だと思わせるものでした。2023～24年度は受け入れと派遣が各7名となり冊子に紹介されています。

第１回クラブフォーラム「今年度の運営・活動方針」

ロータリー財団委員会　福﨑菊夫 委員長　もう皆さんご存知のように、ロータリー財団の活動内容、それを支える寄付の意義、重要性を理解することによって、クラブの奉仕活動が活性化するということであります。この寄付は今まで上尾西ロータリークラブは毎年ずっと100%達成しております。年次寄付クラブ1人当たり200ドル。それからポリオプラス基金で1人当たり50ドル、これを寄付することによって3年後に地区補助金として戻ってくるということで、その際には社会奉仕活動、あるいは色々な活動で、そのクラブが使えますよということです。3年後の会長さんは、今年度寄附したものが戻ってきて効率よく使えますよということなので、皆さんのご理解を賜りながら、今年度もロータリー財団の寄付を100%お願いしたいです。今ちょっと円安ですが、それはそれとして1人200ドルは必ずお願いしたいと思います。この活動を通じていろんな意味で社会奉仕あるいは職業奉仕、いろんなクラブの骨格ができるかなと思いますので、皆さんのご理解とご協力を深くお願い申し上げます。

米山記念奨学会委員会　田邉利幸 委員長　今年度、当クラブは奨学生の受け入れをしていませんので、基本的には次に向けての寄付で、1人頭2万5千円と地区の方からお願いがきています。5千円の方は普通寄付という形で既にいただいております。寄付率というのは、米山は非常に重要ですので、1人2万円の寄付を是非よろしくお願いいたします。ちなみに当クラブは毎年100%を達成しております。文ちゃんがいた時、皆さん楽しく交流をしたり、飲んだり、旅行に行ったりしたと思いますので、次年度の紅谷年度にはまた奨学生を迎え入れ、新たな出会いを求めて1人当たり2万円、2万円以上は要りません、今年度は地区で新井会員が部門委員長をしているので、新井さんのためにも米山寄付をお願いいたします。

社会奉仕委員会・特別奉仕P「ロータリーの森」委員会　河原畑光一 委員長

社会奉仕のうちの一番の目玉はロータリーの森ということで、スポーツ少年団、市内の教育委員会、そして市長との話し合いもしており、それを絡めた上で新たな企画ということでホタルの再生計画をより強化した1年にしていこうと考えております。まず毎月の整備を含めて9月から再開し、新しい年度に向けて在来種である小さい方のヘイケボタルを復活させてやっていこうと教育委員会の方に話を持っていっています。市内小学校の教室でホタルの幼虫から成虫になるまで育ててもらうために、教育委員会の方で予算を組んでもらっている段階で、なおかつ市の方で大々的にホタル再生企画ということで看板を立てていこうという話もあり、今煮詰めている形ですので、皆様の協力を得てですね、大成功を持っていきたいなと思っておりますので、1年間よろしくお願いいたします。

Smile Box

川田淳也君　本日は各委員長の皆様、セミナー報告頂きまして、ありがとうございました。
原雅之君　各委員長様、セミナー報告有難うございました。
永嶋輝一郎君　猛暑日が続いています。世界的熱波に依る作物の不作が心配な時代の到来です。
日吉千穂重君　結婚誕生の皆様、お目出度うございます。クラブフォーラム発表の皆様、ごくろうさまです。
片桐勇君　暑さが続きます。熱中症にならないように！
齊藤一雄君　誕生祝ありがとうございました。
新井登志彰君　誕生祝ありがとうございました。還暦となってしまいました。セミナー報告、委員会方針発表の委員長、ありがとうございます。

紅谷旺司君・小山清君・田邉利幸君・河原畑光一君・中山邦君・福﨑菊夫君・矢澤勇君・辻尚之君・山﨑康裕君・本田幸司君・郡司貴江君・三浦宏典君

（￥21,000　累計￥118,000）

委員会報告

50周年記念実行委員会(前年度)　齊藤一雄 幹事長　今日50周年記念誌をお配りしました。編集は5月頃から始めていたのですが書類がまとまらず、えらい時間かかりましたが、記念誌実行委員会の中山会員と矢澤会員のお2人に手を貸していただき今日に至りました、ありがとうございます。それと50周年の会計を今日、監査していただきました、大雑把に皆さんにお知らせします。50周年の積立金をクラブから100万いただき、658万1,724円が基本になっていて、登録していただいた方が42名で84万円。そして、大船渡RCと台北稲江RCの各クラブ30万ずつで60万、お祝い金が13万円、中村先生のお孫さん2人の姉妹に出席していただきまして、各5万で10万いただいたのが非常に大きかったです。収入合計が838万724円で、支出の方はパレスホテルとかなり交渉して何とか463万円に抑え、前夜祭が大宮の木曽路で62万7,000円、お土産が43万円、合計が827万8,927円ということで、10万7,745円残りました。

出席報告

例会	会員数	対象会員数	出席数	免除者出席数	出席率
2605回	39人	30人	19人	4/11人	55.88%

フェローシップ委員(8月度)　水野正男　岡村哲也

●本日の献立●

鯖塩焼き　卵焼き
豚肉茄子ピーマン炒め
麻婆豆腐　白飯　みそ汁

例会日 ： 毎週水曜日　12:30～13:30
例会場 ： 上尾東武ホテル　コミュニティホール
事務局 ： 上尾市谷津2丁目1番34号　日和ビル4F
TEL ： 048(772)4104　FAX ： 048(772)3344
上尾西RCメールアドレス ： awestrc@ceres.ocn.ne.jp
ホームページ ： http://www.rotary-ageowest.jp